

	課題（児童の実態、学習状況、指導の実態）	改善プラン（課題の改善プラン、具体的な手だて）
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 友達の意見を聞くが、自分の考えと比べ自分の考えを深めようとする児童が少ない。</li> <li>• 文章の書き方（原稿用紙の使い方）などの書くルールが身に付いていない児童が多い。</li> <li>• 小テストで漢字を書ける児童は多いが、日常的に漢字を使える児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 児童が友達の意見による考えの深まりを実感できるような交流の場面を作っていく。また、友達の考えと自分の考えを比べ、同じ点や違う点を比較検討し再考する良さを児童に伝えていく。</li> <li>• 週末に200字の作文を書かせる。条件を指定してその条件のもと作文が書けるように指導していく。</li> <li>• ノート指導や作文指導の中で漢字を使うように声をかけるとともに、使った漢字の字数をカウントするなどしながら日常的に漢字を使用する意識を高めていく。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会科の学習意欲は高いが、社会的事象について興味・関心のある児童とそうでない児童の二極化が見られる。</li> <li>• 資料の活用や資料間の比較が苦手な児童がいる。また、自ら学習問題を見つけることには不慣れである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習者用端末等のICT機器を活用することで、高い学習意欲を、社会的事象についての興味関心につなげられるようにする。</li> <li>• 資料の効果的な活用についての指導を充実させる。資料を比較検討するなかで、学習問題を設定するために視点を養えるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5展開の習熟別指導を行っている。</li> <li>• 既習事項の基礎的な計算などが身に付いていない児童が少なくない。</li> <li>• 課題解決について自分の考えを明確に示すことが難しい児童が多く、個人差も大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5展開指導で児童に応じた習熟度指導を行い、個人差に配慮した授業展開をする。</li> <li>• 既習事項の定着を確認しつつ、反復して練習問題等に取り組みせ、習熟を図っていく。</li> <li>• 考えを交流する場面を多く設定し友達の意見を取り入れたり、参考にしたりすることで考えの示し方や図示する方法などを身に付けられるようにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 結果からの考察を自発的に考えることに課題が見られる児童がいる。</li> <li>• 学んだ内容を自分たちの身近な生活に活かそうとしたり、生活の中の科学的な事象を自身と結びつける「振り返り」を書いたりすることが難しい児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 考察の際に同じ班の友達と話し合う時間を設け、他者の考えから学びを広げられるような指導を行う。また、教科書以外の写真などの資料を提示し、児童が視覚的に理解をしやすいようにし、思考を深める指導を行う。</li> <li>• 授業の中で、単元と関連する具体的な生活の中での科学的な例を紹介する。図書室の理科に関係する本や写真などの資料を用</li> </ul>

		意して、発問の内容も工夫して行う。
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 感覚の偏りや運動技能に差が見られる。</li> <li>• 苦手とする運動では積極性に欠けてしまう様子が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• めあてと指導のポイントを具体的に示し、スモールステップで行うことで、見通しを持たせ、基本的な動きや体の使い方を身に付けていけるようにする。</li> <li>• ワークシートで振り返りを書かせることによって、自己の動きの良い点や課題、解決方法を明確にし、次時の授業で解決に向けて実践できるように指導していく。</li> <li>• ルールを基本的なものだけにし、実態に合わせて取り組んでいけるように子どもたち中心に決めていくことで苦手な子も積極的に取り組めるようにする。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道徳的な価値については理解しているものの、自分自身の生活と結び付けて考えることが難しい。</li> <li>• 友達の話を聞き、自分自身のこととつなげて考えることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道徳的価値と自分自身のことをつなげて考えられるように、毎時間の振り返りをきちんと行う。</li> <li>• 発問を精選し、自分の考えをより深められるようにする。</li> <li>• 交流の場面を設けて、自分の考えと友達の考えとつなげて考えることができるようにする。</li> </ul>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>• めあてを意識しながら、英語を用いて表現しようとする児童が多い。</li> <li>• 表現の種類が多くなり難しくなってきたことで、話すことに抵抗感を感じている児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アクティビティやゲーム、歌などさまざまな種類の活動を工夫して取り入れながら、自然に英語の音声や表現に触れられたり、身に付けたりできるようにする。</li> <li>• めあてを明確にして活動し振り返りをする中で、自分の成長を感じ、自信につなげられるようにする。</li> </ul>